

活動名	小学生のための夏休み「自由研究」教室
-----	--------------------

貢献・連携類型	4. 小中高大連携・協力
---------	--------------

報告者	庶務課	学科	職位	職員	氏名	鈴木 智子
-----	-----	----	----	----	----	-------

概要（実施したこと、進捗状況等）について記述してください。

毎年夏休みに入った頃に、小学生の夏休みの自由研究のお手伝いということで、大学の教員及び学生（一部高校生）が先生となって、小学生を対象に「学び」→「作り」→「動かす（実験する）」ということを経験していただいています。

ものを作る楽しさに触れ、身近なものにも疑問をもつことで、新しい世界が広がることを知っていただくことで、楽しい経験を理系への興味へつなげるよう工夫して行っています。

今後の展望、本活動で得られた成果を記述してください。

イベント参加者は、小学生だけで132名。保護者を含めて約400名。安全確保のため人数制限を設けて行っていますが、毎年定員に達しています。

今後も身近な疑問に対して、「なぜそうなるのか？」の理由を学び、実際に手を動かして体験するというプログラムを考え、体験を通して心に残るイベントとして千代田区に後援をいただきながら、続けていきたいです。

対象・相手先	千代田区後援で行う小学生対象のイベント
--------	---------------------

協定書・依頼の有無（具体的に記入）	なし
-------------------	----

実施日時	令和6年7月28日 11時～13時
------	----------------------

場所	駿河台校舎1号館CSTホール
----	----------------



本学からの参加者
 精密機械工学科（教員及び学生）、電気工学科（教員及び学生）、物質応用化学科（教員及び学生）、物理学科（教員及び学生）、駿河台理科教育サークル（学生）、日本大学第一高等学校（教諭及び生徒）、事務局員 係員として合計約55名参加



日大
理工